

冬期道路交通確保対策会議（第2回）

議事概要

1. 日時 平成29年3月22日（水） 14:00～15:40

2. 議事概要

1) 1月豪雪の検証及び対策について（第2回会議の開催）

○対策については、5つの視点に基づく対応策（案）について議論し、対応策が合意された。今後、対応策の具体的な内容について、関係機関が連携・協力して取り組むことを確認した。

2) 会議での意見等について

① 除雪体制・除雪方法について

- 大型車流入抑制のための広域的な迂回情報の提供については、今後、具体的な方法及びタイミング等の検討を進める。
- タイヤチェーン装着に特化した取締りではなく、まずはノーマルタイヤの排除のための冬用タイヤ指導を進める。
- 幹線道路の緊急車両の通行確保は重要で、立ち往生の発生前に通行止めを行い、集中除雪をすることも必要であり、交通規制の方法等、関係機関と調整していく。

②各関係機関との情報共有について

- 各機関の情報収集及び提供について、様式の一元化や記載内容の見直しを実施する。

③一般住民やドライバーへの情報提供について

- 利用者等への情報提供、情報の一元化について、国及び鳥取県でホームページ

ジにリンクの貼付やQRコードの作成等を進める。

④広域支援など異常降雪時の支援体制強化について

- 除雪応援機械について、派遣側と受入側の双方で具体的な指示を行うための窓口が必要。
- 異常降雪時の広域除雪支援体制の強化の項目は、県も取り組んでいくので実施機関として追加する。

3) 規約改正

- 事務局から倉吉河川国道事務所を組織に加えるとともに、本会議の下部組織として幹事会を設けることを提案し、了承された。
- 委員から鳥取県土整備事務所についても、組織に追加することが提案され、了承された。

4) 今後の進め方

- 各対応策の具体的な実施内容については、夏頃に幹事会を開催し、検討することを確認した。